

May 2021

ようこそ、持続的共発展教育研究
センターの教育プログラムへ！
-新しい学理、教育、そして人財を生み出す-
Welcome to Education Program by
“Education and Research Center for
Sustainable Co-Development”(SusCoDe)
-Generation of new scientific principle,
education method and human resources-



<http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/>

「科」の「学」だけでは 環境問題に対応できない！

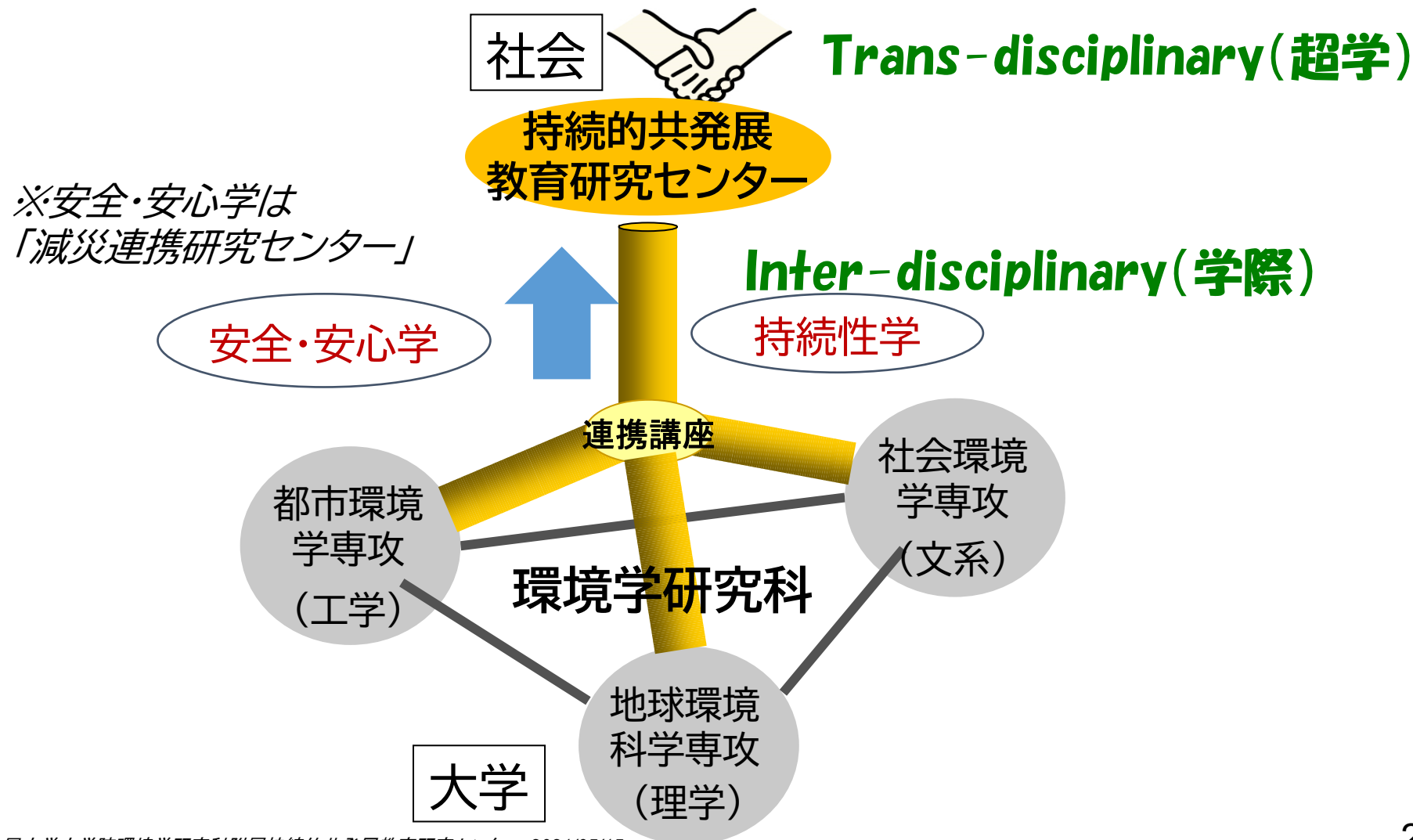
**Miscellany of detailed academic disciplines
cannot solve environmental issues.**

- 環境問題＝自分たちの周辺の問題(の総合)
The environment is a series of problems around ourselves.
 - ✓ 様々な事象が分野横断で複雑に結びついている
 - ✓ 実験室と違って都合のよい仮定は設定できない
- 細分化された個別学問分野では視野が狭すぎる
Detailed discipline's perspective is narrow.
 - ✓ 固有の視点から鋭利な分析を提供できる場合も
 - ✓ しかし的外れな視点になることも。分野間相反も
- 大学に閉じこもっていてはそれを実感できない
We cannot feel inside university.
 - ✓ その方が論文は書けても、社会と乖離

持続的共発展教育研究センターの位置づけ

-トライアングルからテトラポットへ-

Positioning of "Education and Research Center for Sustainable Co-Development"(SusCoDe)



臨床環境学コンサルティングファーム

-社会と大学研究者との「お見合い」の場-

Consulting Firm for Clinical Environmental Studies

- 企業・行政、市民などの皆様の**ワンストップ**相談窓口！
- 地域と大学の共同研究・**協力活動**を創り出す場！
- 新たな環境人材の育成と**キャリア開発**の機会！

そのために
大学内の横連携！



6 研究科連携ESDプログラム

Nagoya University Education for Sustainable Development Program by 6 Graduate Schools

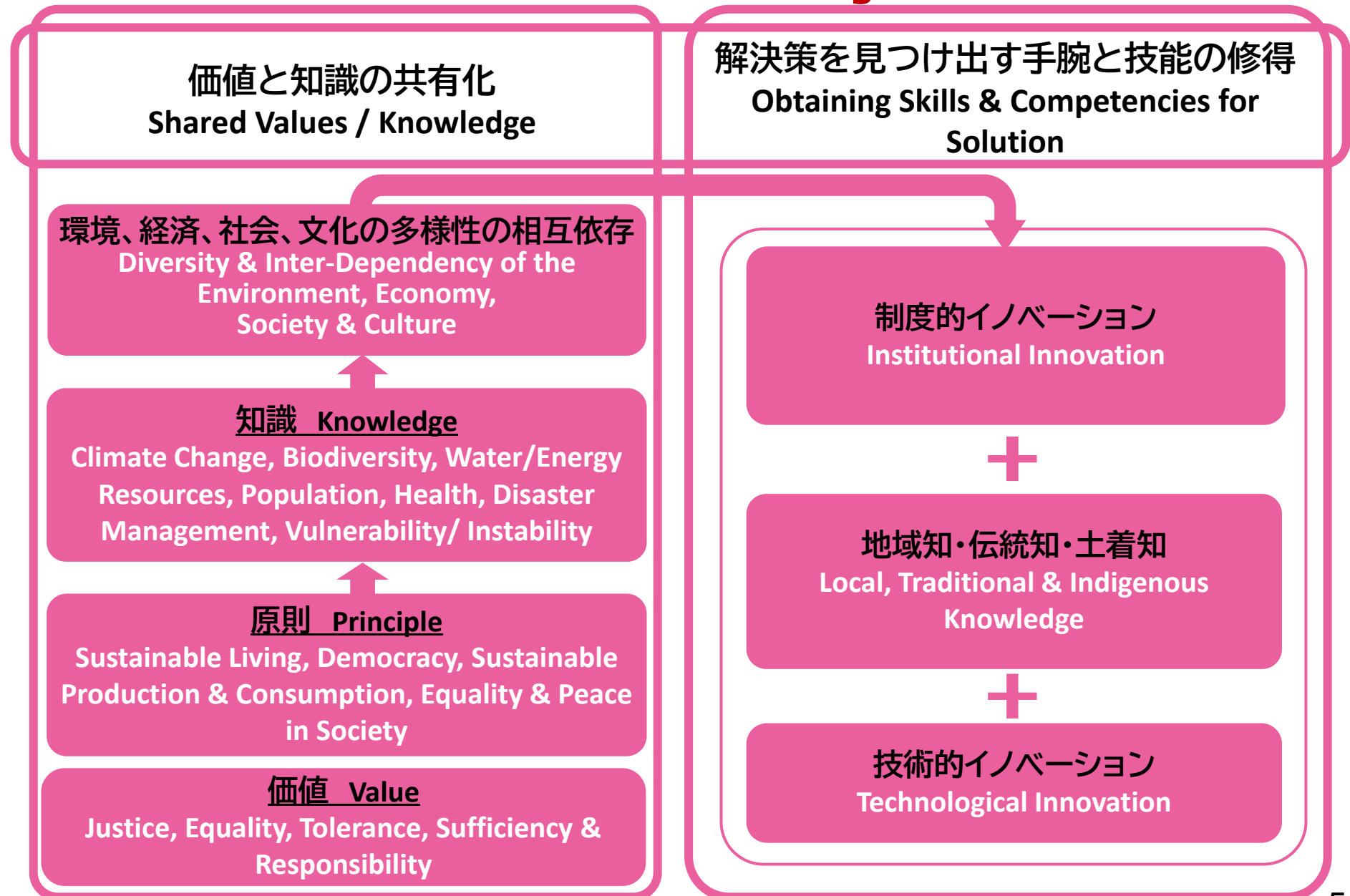
<http://www.nuesd.env.nagoya-u.ac.jp/>



持続可能な発展・研究に関係する約60の講義について、
他の研究科のものも受講でき、単位を取得することができます。

2021年度 名古屋大学大学院 6 研究科連携ESDプログラムの体系

FY2021 The ESD Consortium Program Mechanism



国連「持続可能な開発目標」 (SDGs: Sustainable Development Goals)

あらゆる貧困を撲滅し、誰一人取り残すことなく持続可能な社会へ変革するための2030年にむけた17のゴール。
2015年に国連が採択。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境学研究科では、ESDプログラムの講義とSDGsとの関連を示す表(右)をWebサイトで公開しています。

http://www.nuesd.env.nagoya-u.ac.jp/pdf/sdgs/ESD2021_SDGs.pdf

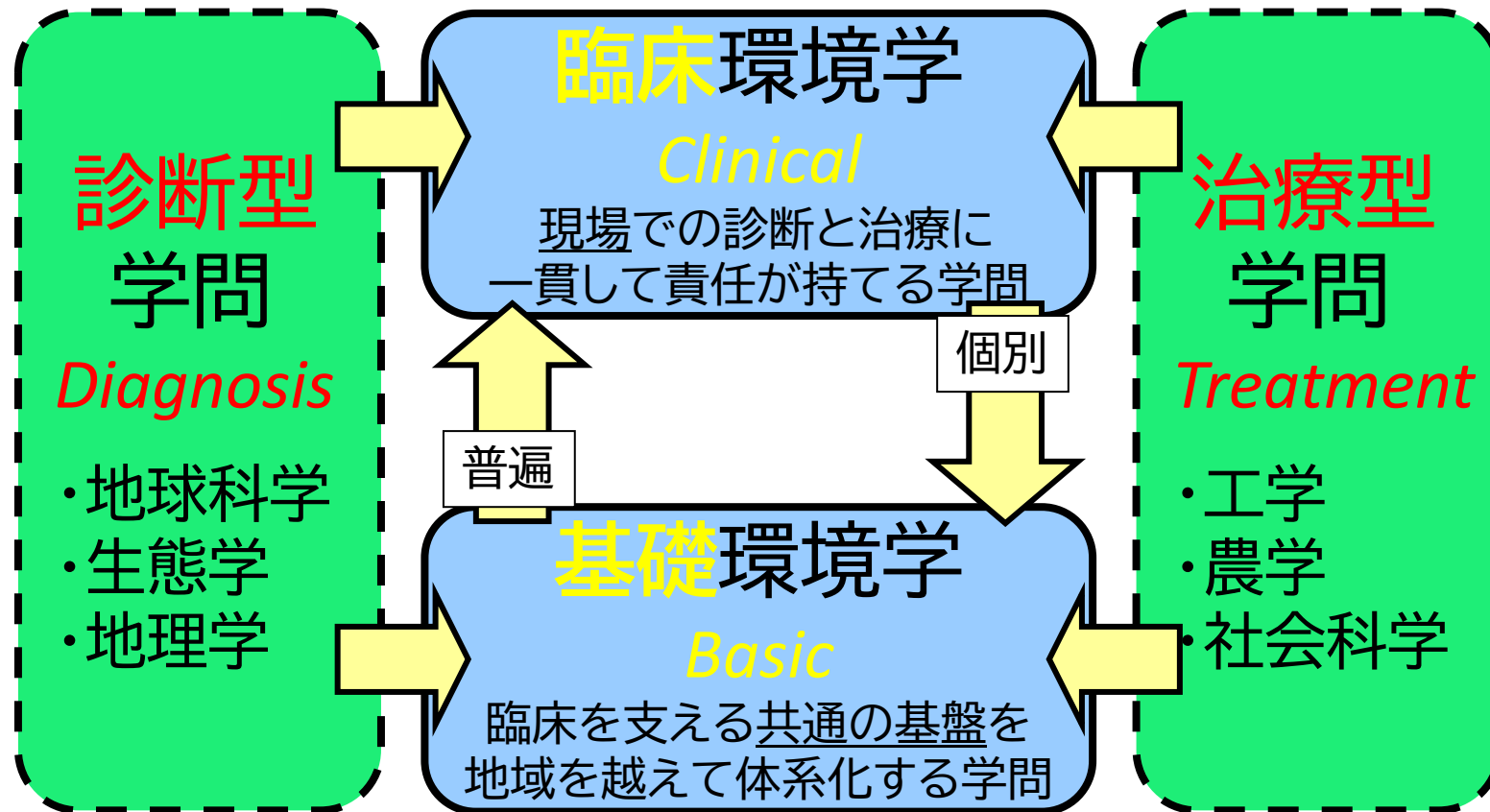
2021年度名古屋大学6研究科連携ESDプログラム
FY2021 Nagoya University ESD Consortium Program with 6 Graduate Schools
環境学研究科 (Graduate School of Environmental Studies)

						SDGs (持続可能な開発目標) との関連																
授業科目	Course Title	担当教員	単位数	学期	授業科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境学フィールドセミナー	Field Seminar on Environmental Studies	講師	M 1, 2	春学期	田中 啓子 教授 (代表)																	
生態学概論	Ecology	講師	M 1, 2	秋学期	杉山 健一 教授、佐々木 孝 教授																	
持続可能な開発入門	Introduction for Sustainable Development	講師	M 1, 2	開講せず	岡野 勉夫 教授、加藤 博和 教授、小松 尚 教授																	
持続可能性と環境学	Sustainability and Environmental Studies	講師	M 1, 2	秋学期	ジョンソン・ブナートリ 准教授、谷川 真樹 教授、井上 敏夫 教授																	
水の環境学	Studies on Water Environment	講師	M 1, 2	春学期	岡野 勉夫 教授 (代表)																	
資源・エネルギーの環境学	Environmental Studies on Natural Resources and Energy	講師	M 1, 2	春学期	岡野 勉夫 教授																	
持続可能な地域づくり実践セミナー	Practical Seminar on Developing Sustainable Local Communities	講師	M 1, 2	通年	岡野 勉夫 教授																	
総合防災論1A (自然編)	Science and Technology for Disaster Mitigation (A: Natural Disasters)	講師	M 1, 2	春学期	鈴木 謙弘 教授 (代表)																	
総合防災論1B (社会編)	Science and Technology for Disaster Mitigation (B: Social Disasters)	講師	M 1, 2	秋学期	岡野 勉夫 教授、加藤 博和 教授																	
総合防災論2 (防災編)	Science and Technology for Disaster Mitigation 2: Methodology for Disaster Mitigation	講師	M 1, 2	秋学期	長江 和也 准教授 (代表)																	
総合防災論3A (実践編1)	Science and Technology for Disaster Mitigation (3: Practical Actions for Disaster Mitigation (1))	講師	M 1, 2	春学期	岡野 勉夫 教授																	
総合防災論3B (実践編2)	Science and Technology for Disaster Mitigation (3: Practical Actions for Disaster Mitigation (2))	講師	M 1, 2	秋学期	岡野 勉夫 教授																	
地質学概論	Introduction to Geology	講師	M 1	春学期	Marc Andre Humbert 准教授																	
低炭素都市学	Low Carbon Cities Studies	講師	M 1	春学期	谷川 真樹 教授 (代表)																	
環境都市システム論	Environmental Urban Systems	講師	M 1, 2	秋学期	村松 尚和 准教授																	
環境コミュニケーション	English Communication in Environmental Issues	講師	M 1, 2	春学期	村松 尚和 准教授、Chun Sohyun 講師																	
環境学英語特別講義1	Special Lecture on Environmental Studies (English language) 1	講師	M 1, 2	随時	教務委員会																	
環境学英語特別講義2	Special Lecture on Environmental Studies (English language) 2	講師	M 1, 2	随時	教務委員会																	
地球惑星科学概論	Introduction to Earth and Planetary Sciences	講師	M 1, 2	開講せず	岡野 勉夫 教授 (代表)																	
気候変動概論	Global and Urban Warnings	講師	M 1, 2	春学期	中塚 武 教授 (代表)																	
住まいと環境	Housing and Environment	講師	M 1, 2	秋学期	岡野 勉夫 教授 (代表)																	
環境政策論	Environmental Policies and Strategies	講師	M 1, 2	開講せず	岡野 勉夫 教授																	
環境の倫理	Environmental Ethics	講師	M 1, 2	春学期	Pills 洋司 教授																	
基礎環境学講義1	Classes and Research Instruction in Basic Environmental Studies I	講師	D 1, 2	随時	岡野 勉夫 教授、加藤 博和 教授、村松 尚和 教授																	
基礎環境学講義2	Classes and Research Instruction in Basic Environmental Studies II	講師	D 1, 2	随時	岡野 勉夫 教授、加藤 博和 教授、村松 尚和 教授																	
臨床環境学研修1	On-site Research Training in Clinical Environmental Studies I	講師	D 1, 2	随時	岡野 勉夫 教授、岡野 勉夫 教授、村松 尚和 教授、村松 尚和 教授、村松 尚和 教授、村松 尚和 教授																	
臨床環境学研修2	On-site Research Training in Clinical Environmental Studies II	講師	D 1, 2	随時	岡野 勉夫 教授、岡野 勉夫 教授、村松 尚和 教授、村松 尚和 教授、村松 尚和 教授、村松 尚和 教授																	
国際環境法	International Environmental Law	講師	M 1, 2	春学期	内記 裕子 教授																	
環境法	Environmental Law	講師	M 1, 2	秋学期	内記 裕子 教授																	
環境政治	Environmental Politics	講師	M 1, 2	春学期	野村 原 教授																	
環境政治セミナーA	Environmental Politics Seminar A	講師	M 1, 2	春学期	野村 原 教授																	

英語授業/Classes taught in English
英語選択/Classes may be taught in English (Depending on the request of the students)

臨床環境学®と基礎環境学

Clinical & Basic Environmental Studies



※「臨床環境学®」は、名古屋大学の登録商標です。

博士後期課程の皆さんへ

統合環境学 特別コースで 学んでみませんか？

気軽に
参加してみね！



統合環境学特別コース *Integrated Environmental Studies Course* :

- ◎博士後期課程向け。どの専攻に所属していても参加可能
- ◎異分野の学生・教員とともに、環境問題について多角的に考えることができる
- ◎持続的共発展教育研究センターが提供

「俯瞰力」と「現場力」

Skill for “Overlooking” & “Acting real fields?”

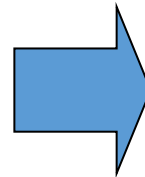
- 基礎・『俯瞰力』: Think globally
 - 様々な立場や価値観があることを理解し、旺盛な好奇心を持てる力
 - 幅広い視野を持って状況を把握できる力
- 臨床・『現場力』: Act locally
 - どこに放り出されても対応できる分析力とコミュニケーション力
 - 状況を把握し伝える力(診断)
 - 調査や意見交換を通じて適切な処置を提案し実施できる力(処方・治療)

ORTの流れ：「俯瞰力」「現場力」をつける！

Flow of ORT to improve the skill for
“Overlooking” & “Acting real fields.”

1.事前検討<大学>
Pre-discussion (univ.)

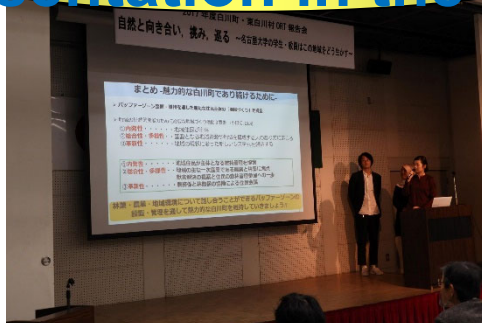
異分野・多国籍
メンバーで検討



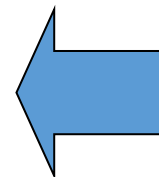
2.全員調査<現地>
Research by all members



4.発表<現地>
Presentation in the field



「診断」「処方」を示す
Diagnosis & Prescription



3.個別調査<現地>
Research by each group

- ・ チーム・テーマを決定
- ・ 現場で調査・分析を企画・実施

「目からウロコ」 See the light!

基礎・臨床環境学に関する授業：後期課程

Doctor course program of Basic and Clinical Environmental Studies (ALL: Japanese and English)

統合環境学特別コース *Integrated Environmental Studies Course*

• **On-site Research Training (ORT):** 臨床環境学研修1・2 (2 credits)

• **On-campus Seminar:** 基礎環境学講究1・2 (2 credits)

※臨床環境学研修1・基礎環境学講究1の単位を修得すると、特別コース修了証(certificate)が得られる

※これらの授業は博士(環境学)の単位取得要件<他専攻科目の単位取得が必要>に使える

※RA募集あり



Let us begin the journey of clinical environmental studies!

2019・20年度のフィールド:木曽町(長野県) ORT Field in FY2019 and 2020: Kiso town (Nagano pref.)



御嶽山 Mt. Ontake



↑ ORT2019 の現地研修、ワークショップの写真



出典: 木曽町ホームページより

名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 2021/05/15

Let us begin the journey of clinical environmental studies!



2019・20年度のフィールド: 長野県木曽町(木曽川上流)
ORT Field in FY2019・20: Kiso-machi, Nagano Pref.

【参考】ORTの日程（2019年度） *Schedule in FY2019*

※2020年度はオンライン実施。2021年度は調整中

月	行事	内容
4/24(水)	立ち上げ会合	概要説明、グループ分け
5/14(火)	準備会合	各個人の興味に応じた対象地域に関する発表
6/4(火)	定例打合せ	現地見学会の準備
6/13(木) ～15(土)	現地見学会 (スタディツアー)	2泊3日で現地を訪問し調査・ヒアリング
6～11月 (毎月 1回程度)	個別調査・分析	各グループで個別に実施
	定例打合せ	各グループの進捗状況確認
9月	学内中間発表会	データ収集状況や成果・知見について発表
11月	学内最終発表会	研究結果について発表
12/7(土)	現地研究報告会	地域の皆様に研究成果を見ていただくとともに議論し、今後の調査研究へつなげる
1～3月	最終報告書作成	報告書として形に残し、地域にも手渡す

最終報告会（2019年12月7日開催）

Final report conference in Kiso town



日時：12月7日（土）13:30～16:30（開場13:00）
会場：木曽町文化交流センター（長野県木曽郡木曽町福島5129番地）
 入場無料・事前申込不要

プログラム

- | | |
|-------|---|
| 13:30 | 開会・開催挨拶 原 久仁男（木曽町長）
西澤 泰彦（名古屋大学 環境学研究科長） |
| 13:40 | 「臨床環境学」研修（ORT: On-site Research Training）について |
| 13:50 | 木曽町・臨床環境学実習の報告—名古屋大学教員 |
| 14:05 | 御嶽山研究に関する報告—名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター
國友 孝洋 特任准教授 |
| 14:20 | 木曽町・臨床環境学研究の報告—博士課程学生 カレギィ マルジャン |
| 14:45 | 研究・取り組み内容ポスター展示（休憩） |
| 15:00 | 総合討論「知り合おう 木曽町へ来た人・迎える人」
討論者：市 恒美（日義地域協議会長） 木村 耕紀（移住サポートセンター）
大目 富美雄（開田高原倶楽部） 坂下 佳奈（地域おこし協力隊）
カレギィマルジャン（名古屋大学 学生） 宮坂 隆文（名古屋大学 助教）
コーディネーター：加藤 博和（名古屋大学 環境学研究科 教授） |
| 16:30 | 閉会・閉会挨拶 山口 靖（名古屋大学 環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター長） |



主催：名古屋大学 大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター
後援：木曽町
 問い合わせ：持続的共発展教育研究センター事務局（柿元・杉山）TEL: 052-747-6547



統合環境学特別コース参加で何が得られるか？

What do you get by joining our course?

exiting! interesting! and cool!

- コミュニケーションが得意になる（対人、対自然）
- 異分野・一般社会での知り合いが増える
- 視野が広がる
- 日本のことがわかる

すなわち「俯瞰力」と「現場力」

- 「ただの博士・修士」は上記のスキルは不要
「何か新しいことをやらかす博士・修士」になる
- 「専門の研究者」以外のキャリアパスを拓く
究極の狙いどころは「起業家」「政治家」の輩出
つまり、世の中をいい方向に変える人！
いま、世界がそういう人を求めています！

持続的共発展

検索



2019 年度 木曽町 ORT 報告会

名古屋大学の学生・教員がふれた木曽町の魅力

求む！ 地球と地域を救おうとする
高い志と強い意志をもった学生



We expect the participation of students with high motivation and strong will. Let's tackle!



<http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/>

質問・相談は、こちらへどうぞ。

If you have any questions or consultation, please contact us.

持続的共発展教育研究センター（加藤・柿元）

Education and Research Center for Sustainable Co-Development
(H.Kato, Y.Kakimoto)

TEL: 052-747-6547

cesfirm@ercscd.env.nagoya-u.ac.jp